

報道関係各位

株式会社セキュアブレイン

セキュアブレインがウェブサイトの改ざんを検知する「ウェブ解析機能」を、 「PhishWall(フィッシュウォール)サーバ」に付加して提供を開始

株式会社セキュアブレイン(本社:東京都千代田区、代表取締役社長 兼 CEO:成田 明彦、以下「セキュアブレイン」)は3日、SaaS型セキュリティソリューション「gredセキュリティサービス」で提供している「ウェブ解析機能」を「PhishWall ウェブ解析サービス」として、フィッシング対策ソリューション「PhishWall(フィッシュウォール)サーバ」に付加して、提供を開始することを発表しました。

近年、企業のウェブサイトの改ざん被害が多数報告されています。セキュアブレインが運用する、無料のウェブサイトチェックサービス「gred(グレッド)」でチェック(<http://www.gred.jp>)で収集した、情報の分析結果を基に定期的に発表している「gredセキュリティレポート」では、2009年10月の1ヶ月に改ざんの被害にあったウェブサイト885件うち、469件(53%)は企業のウェブサイトであったことが報告されています(詳細は「gredセキュリティレポート Vol.4【2009年10月】」(<http://www.securebrain.co.jp/about/news/2009/11/gred-report4.html>)をご覧ください)

ウェブ改ざんの被害にあった企業は、信用失墜やビジネス機会の損失、法的責任等の二次的損害を被る可能性があります。このような脅威に対して企業は、早急に対策を立てる必要に迫られています。

セキュアブレインは、フィッシング詐欺対策に「ウェブサイトの改ざん対策」を加えることで、企業のウェブサイトのより安全な運用が可能と考え、「PhishWallウェブ解析サービス」提供を開始いたしました。

「PhishWall ウェブ解析サービス」は「PhishWallサーバ」の既存ユーザ、ならびに今後導入する新規ユーザ共に提供されます。

「PhishWallウェブ解析サービス」は、ウェブサイトの改ざんの有無を定期的に確認し、不正な改ざんを検知すると、管理者にアラートメールの配信と詳細なレポートの提供を行います。また、ウェブサイト改ざんを検知した際に、自動的に安全なページへ切り替えて、被害を最小限に防ぐための迅速な対処が可能になります。

「PhishWall ウェブ解析サービス」の機能概要

1. PhishWall サーバ導入企業には無償提供
2. 定期的(4回/1日~)にウェブサイトのコンテンツを監視(ライセンスに応じて1日の解析回数を選択可能)
3. 不正な改ざん検知時に管理者にアラートメールを配信
4. 解析結果を定期レポートで報告
5. 改ざんページ、改ざん手法に関する詳細レポートを提供
6. 改ざんページを安全なページ(メンテナンス画面)に自動切り替え
7. 「gred セキュリティサービス」で監視している、安全なウェブサイトであることを証明する「gred 証明書」を発行

◆「PhishWall ウェブ解析サービス」の製品紹介ページ

<http://www.securebrain.co.jp/products/phishwall/index.html>

◆管理コンソール画面



◆改ざん発生時の詳細レポート

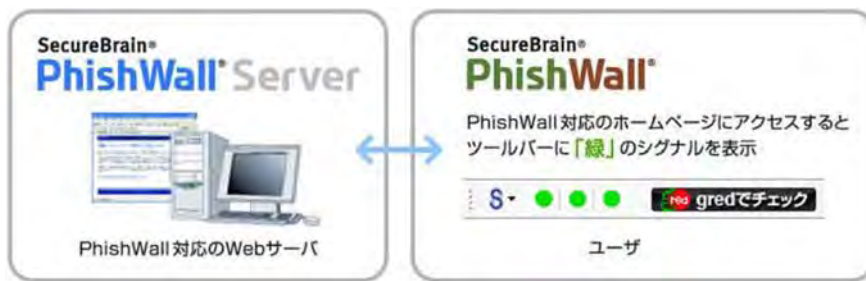


以上

セキュアブレイン PhishWall (フィッシュウォール) とは

「PhishWall」は、ウェブサイト運営する企業が、自社ウェブサイトの真正性を証明するために導入するサーバ側ソフトウェア、「PhishWall サーバ(有料)」と、エンドユーザの PC にブラウザのツールバーとしてインストールする「PhishWall クライアント」から構成されています。「PhishWall クライアント」は、「PhishWall サーバ」が導入されたウェブサイト閲覧時に、緑のシグナルをツールバー上に表示して、当該ウェブサイトの真正性を証明します。

「PhishWall クライアント」は、「PhishWall サーバ」の導入企業様、およびセキュアブレインのウェブサイトからの配布、NEC の個人向けパソコン「VALUESTAR」「Lavie」シリーズへの搭載等により、340 万人の以上のユーザに利用されています。



PhishWall (フィッシュウォール) 採用企業 (2009年12月3日時点、五十音順、敬称略)

- ・株式会社足利銀行 (www.ashikagabank.co.jp)
- ・株式会社池田銀行 (www.ikedabank.co.jp)
- ・株式会社沖縄銀行 (www.okinawa-bank.co.jp)
- ・株式会社オリエントコーポレーション (www.orico.co.jp)
- ・株式会社常陽銀行 (www.joyobank.co.jp)
- ・スルガ銀行株式会社 (www.surugabank.co.jp)
- ・株式会社泉州銀行 (www.senshubank.co.jp)
- ・株式会社仙台銀行 (www.sendaibank.co.jp)

- ・株式会社外為どっとコム (www.gaitame.com)
- ・川崎信用金庫 (www.kawashin.co.jp)
- ・株式会社北日本銀行 (www.kitagin.co.jp)
- ・株式会社きらやか銀行 (www.kirayaka.co.jp)
- ・株式会社京葉銀行 (www.keiyobank.co.jp)
- ・株式会社山陰合同銀行 (www.gogin.co.jp)
- ・株式会社ジェーシービー (www.jcb.co.jp)
- ・株式会社七十七銀行 (www.77bank.co.jp)
- ・株式会社荘内銀行 (www.shonai.co.jp)
- ・株式会社千葉銀行 (www.chibabank.co.jp)
- ・株式会社東邦銀行 (www.tohobank.co.jp)
- ・株式会社栃木銀行 (www.tochigibank.co.jp)
- ・株式会社西日本シティ銀行 (www.ncbank.co.jp)
- ・株式会社ニッセン (www.nissen.jp)
- ・株式会社肥後銀行 (www.higobank.co.jp)
- ・株式会社広島銀行 (www.hirogin.co.jp)
- ・株式会社武蔵野銀行 (www.musashinobank.co.jp)

セキュアブレインについて

株式会社セキュアブレインは、インターネット上の脅威が多様化する中、全てのインターネットユーザに安心を届ける、セキュリティのスペシャリストチームとして、「より快適で安心できるネットワーク社会を実現するために、一歩進んだ技術で貢献する」というビジョンのもと、フィッシング対策ソリューション「PhishWall サーバ」、「gred セキュリティサービス」(<http://www.securebrain.co.jp/products/gred/index.html>)をはじめとした、信頼性の高いセキュリティ情報と高品質なセキュリティ製品・サービスを提供する、日本発のセキュリティの専門企業です。詳細は、<http://www.securebrain.co.jp> をご覧ください。

◆ 本件に関する報道関係者さまからのお問い合わせ先 ◆

株式会社セキュアブレイン 広報担当: 丸山 芳生(まるやま よしお)

e-mail: info@securebrain.co.jp

電話: 03-3234-3001、FAX: 03-3234-3002

東京都千代田区麴町 2-6-7 麴町 RKビル 4F